

1. ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与に関する方針）

本校では、次の力を卒業までに身につけることを重視し、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、専門士の称号を授与する。

I 人間理解に基づき関係を築く力

- 1.人間を身体的・精神的・社会的及びそれらを包含したスピリチュアルな存在として理解できる。
- 2.豊かな感性を養い、共感をもって接することができる。
- 3.看護師として対象との人間関係を形成することができる。
- 4.生命の尊厳について理解し、個人の価値観を尊重できる。

II 看護師としての責任を遂行する力

- 1.倫理に基づいた行動がとれる。
- 2.看護師としての責務について自覚し行動することができる。

III 根拠に基づき看護を実践する力

- 1.安全なケア環境の確保の必要性を理解できる。
- 2.科学的根拠に基づいた看護を実践するための基本的知識をもつ。
- 3.対象に応じた基本的な看護を計画的に実践できる。
- 4.原理原則に基づいた基本的看護技術を実施できる。
- 5.人間を、あらゆる成長発達段階及び健康レベルにある生活者として理解できる。

IV 連携する力

- 1.対象の持つ健康問題の解決に向け、看護チームの一員として相談や情報提供ができる。
- 2.他職種と連携・協働する必要性を理解できる。
- 3.社会資源の活用方法を理解できる。

V 看護師として学び続ける力

- 1.社会の変動に関心をもつ。
- 2.看護の質の向上を目指し、最新知識・技術を学び続ける姿勢をもつ。
- 3.自己の看護観を明確にし、発展させることができる。

2. 成績評価の方法

授業科目の評価については、授業時間の3分の2以上出席した者を対象に行うこととしており、筆記試験やレポート、実技試験等の成績や授業の参加状況等に基づき、100点満点で点数化し、それを秀、優、良、可、不可の5段階にて評価する。それぞれの評価区分に応じたGP（GradePoint）を付与し、単位あたりの平均値を算出したGPA（GradePointAverage）により客観的な成績分布状況を把握するものとする。

(1) 成績評価の表示記号とGPの採点

GPは表示記号に応じた以下の点数方式で行い、それぞれの評価区分に応じたGPを付与する。

評価区分	評定表示	GP
90点以上	秀	3.5～4.5
80点以上90点未満	優	2.5～3.5未満
70点以上80点未満	良	1.5～2.5未満
60点以上70点未満	可	0.5～1.5未満
60点未満	不可	0.0～0.5未満

GP算出 $GP = (100\text{点満点の成績素点} - 55) / 10$ （ただし $GP < 0.5$ は $GP = 0.0$ とする）

(2) GPAの算出方法

GPAは、履修した各科目の上記のGPに、その授業科目の単位数を掛けた値の合計を履修総単位数で割った値である。小数点第2位までを表示（小数点第3位を四捨五入）する。

$$\text{GPA} = \frac{\text{（履修した授業科目のGP} \times \text{当該科目の単位数）の総和}}{\text{履修した授業科目の単位（不可の単位を含む）の総和}}$$